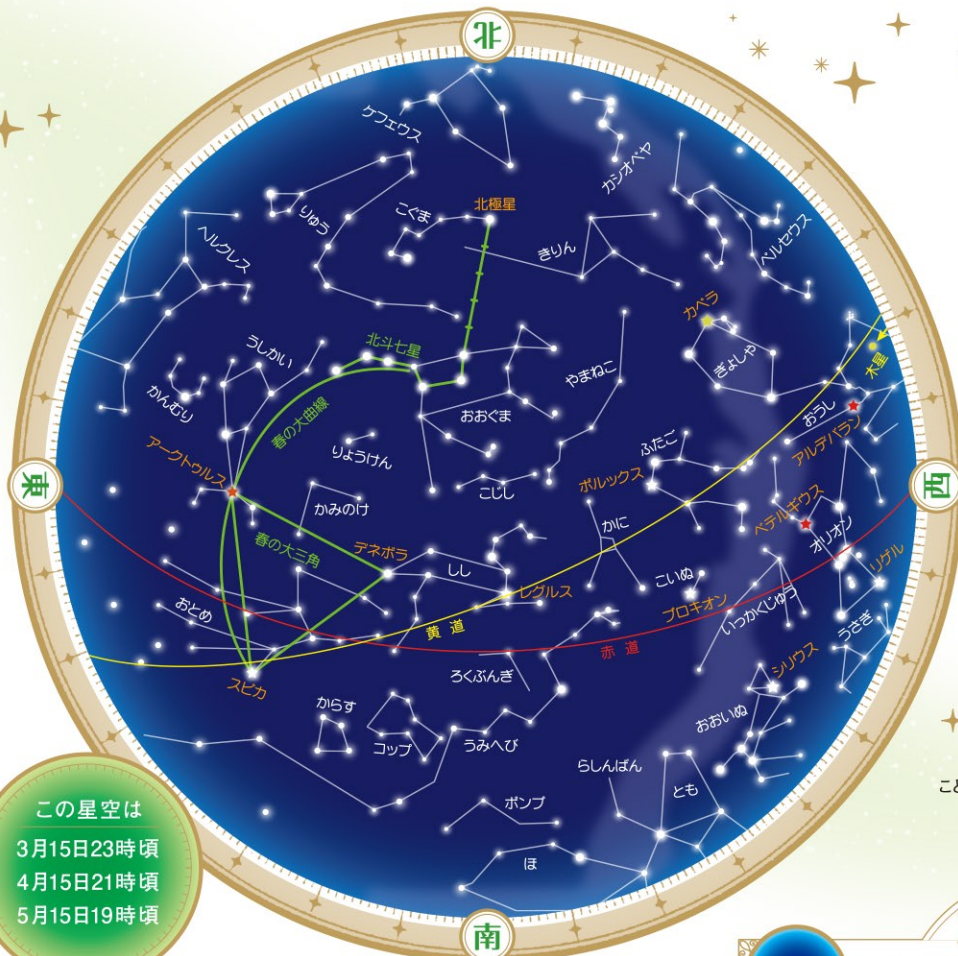


春の星空

星を7つ結んで、ひしゃくの形の**北斗七星**を見つけよう。

ひしゃくの持ち手を弓なりに伸ばしていくと、**うしかい座**の**アークトゥルス**、**おとめ座**の**スピカ**が見つかります。こうしてできた大きなカーブが**春の大曲線**です。

アークトゥルスと**スピカ**を結んだ線を底辺に、西に大きな三角形をつくって**しし座**の**レグルス**を見つけよう。



この星空は
3月15日23時頃
4月15日21時頃
5月15日19時頃

※星図はステラナビゲータ 10/(株)アストロアーツのもとに作成

月齢

3月	4日	下弦	●
	10日	新月	●
	17日	上弦	●
	25日	満月	●
4月	2日	下弦	●
	9日	新月	●
	16日	上弦	●
	24日	満月	●
5月	1日	下弦	●
	8日	新月	●
	15日	上弦	●
	23日	満月	●
	31日	下弦	●

春の天文トピック

4/10 木星と細い月が接近

日が沈むと、4月中旬まで西の空に木星が一番星として見えます。4月10日には、木星の下側すぐ近くに細い月が見えます。新月の翌日で月が大変に細く、普段はとても見つけにくいのですが、この日は木星が目印になってくれます。西の空が開けた場所で、細い月をさがしてみましょう。

こども文化科学館キャラクター
「びよん太」



コラム

プラネタリウム100周年

～地上の星 ドイツに生まれて1世紀～

プラネタリウムは1923年に試験公開、1925年に一般公開されました。「星を映す機械」をいろいろな切り口からご紹介いたします。

100
プラネタリウム
100周年

広島で最初のプラネタリウム

広島県で初めてのプラネタリウムは、現在の広島市佐伯区にあった楽々園遊園地に設置されました。1960年のことです。今では日本全国に300以上あるプラネタリウムですが、当時はまだ珍しく、中国地方でも初となるオープンでした。惑星の動きが再現できないなどプラネタリウムの機能に限りはありましたが、国産化を目指して各社がしのぎを削る中で開発された意欲的な投影機で、およそ10年で閉館となるまで、たくさんの人々に星空や宇宙への夢を届けました。



写真提供：
コニカミノルタプラネタリウム株式会社